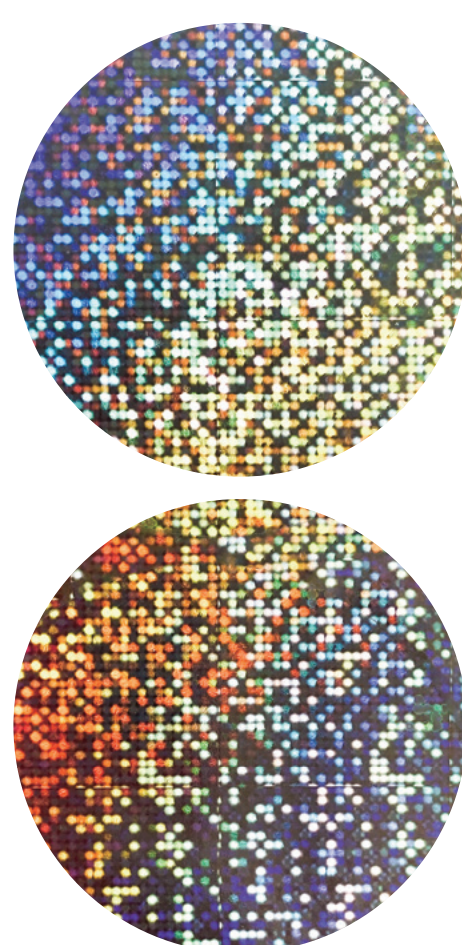


国家公務員ガイド

—
あなたが知らない、
身近な存在

冊子



に

皆さんのギモンに、現役職員が
答えます！
あなたが知らない、あなたが知
りたい、国家公務員というシゴト
と幅広い活躍フィールドをぜひ
チェックしてください！

実は...

試験



人物重視!

満点は求めていません!
得意分野や興味・関心に合わせて
選べる試験

エントリーシート無し!

誰にでもチャンスがある!
受験しなさはじまらない。

仕事

「好き!」を仕事にできる!

守備範囲が広いから、仕事も様々。

「海外」でも「地方」でも活躍

転勤がない職場や一定エリアのみでの転勤
という職場もあり。



女性活躍を応援!

採用者の女性比率が年々増加!
ライフスタイルに合わせてワークスタイルもいろいろ。
(短時間勤務、早出・遅出勤務等)

家族に優しい!

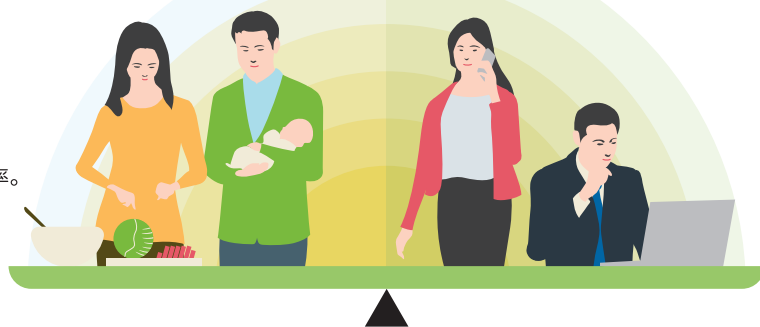
男性の育児休業取得率上昇中!

プライベートも充実!

全職員フレックス勤務可能。高い有給休暇取得率。
充実した制度⇒もちろん、「使える」制度です。

WLB

(ワークライフバランス)



キャリア

省庁別採用でやりたい仕事を選べる!

多様な機会で作れる、自分のキャリアパス!
ゼロ⇒1も、1⇒10も、10⇒100もできる仕事。



地方で生まれ育ち、人口減少を肌で感じる中で「どこに生まれても多様な選択肢が持てる社会にしたい」と思い、法制度や財政・税制度でアプローチができる国家公務員を志望しました。
〈総合職・女性〉

志望動機は？

国家の発展という大きな視点を持って、仕事ができることに魅力を感じたからです。また、各省庁が担当する分野のスペシャリストとして、専門性が高められる点にも魅力を感じました。
〈一般職・女性〉

大学で様々な分野の勉強をするうちに、ビジネスに近いところで経済の活性化に貢献できる仕事に携わりたいと考えようになりました。大学で学んだ法律の知識を生かしつつ、マクロな観点から経済を支える仕事に興味を持ちました。
〈総合職・男性〉

社会を支える
信頼

各行政領域で スキルと専門性を 獲得

多彩な機会で、幅広い活躍フィールド！

仕事がおもしろいと感じるところは？

自分の知的好奇心をフル活用し、総合的な力が求められる点がチャレンジングであり、おもしろい点だと感じています。
〈総合職・男性〉

新しい制度の施行に向けて、関係各所に趣旨の説明をしたり、必要な支援策等について検討しています。全国の現場に関わる重要な業務を担っていることに大きな責任とやり甲斐を感じながら、現場にいる方々の様子を思い浮かべて、一つ一つの仕事に丁寧に向き合うことを心がけています。
〈一般職・女性〉

全力を注ぐ
実行力

あなたが知らない、 あなたが知りたい 「国家公務員」という シゴトとは？

多様なキャリアで 貴方の 個性が輝く

世界をリードする
国際性

充実の制度で 生活との両立も しっかりと

大切な人を守る
人間力

ワークライフバランスは？

「自分の仕事を見つめ直す機会がある」
出向した時に所属グループの総括担当に配属され、窓口業務や国会対応、施策の調整・取りまとめなどの仕事をしました。出向で他の組織で異なる考えを持つ方々と働くことから得られたものは大きかったと実感しています。
〈総合職・女性〉

自分を成長させてくれると 感じたポイントは？

「多様な人々との出会いで刺激を得られる」
学識者や地域のNPOなど多様な意見を調整する中で、様々な感性と出会い、新たな発見のできる現場に日々刺激を得ています。
〈一般職・男性〉

「仲間と切磋琢磨できる環境」
入省してからたくさんの尊敬できる先輩や仲間に出会えました。難しい状況でも適切な方向に導いてくれる方々に囲まれて働くことで、自分も磨かれていることを実感しています。
〈一般職・女性〉

本府省、地方機関、他府省、地方自治体、国際機関、国内外留学、官民交流 など

育児休業、自己啓発休業、フレックスタイム、テレワーク など

本人の希望も 考慮した人事

※人事交流や転勤は必須ではありません。

フレックスタイム制度を利用して、出勤と退庁の時間を早めて、朝は静かなオフィスで自分の仕事に集中し、夕方はできるだけ早めに退庁して家庭で過ごす時間を大事にするようにしています。リズム良く自分の納得のいく質の仕事ができてるように感じています。
〈2児の父〉

第2子が生まれた時、1か月の育児休業を取得し、妻をサポートすることができました。また、妻の海外留学中には、テレワークも活用し、毎朝夕、保育園の送迎を行いながら、日々の業務に従事することができました。国家公務員はこうした制度の活用に対する理解も進んでいると感じます。
〈2児の父〉

働き方改革によって、制度を活用する職員が増えたこと、周りの方の理解が深まったことを実感しています。そのため、限られた時間でいかに効率的に進めるか、進捗をこまめに共有しつつ日々協力して業務を行う雰囲気は自然とできており、非常に働きやすい環境です。
〈2児の母〉